

まちの話題



記録的寒波 氷点下 15.2 度(表紙)



1月24日に降り始めた雪は夕方までに25cm積もり、翌25日早朝には県内観測史上1位の最低気温「-15.2℃」を記録しました。これまでの最低気温は1977年2月18日の大口「-10.2℃」でした。

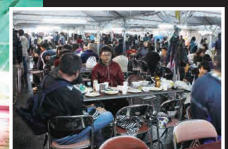
寒波の影響で水道管が破裂し漏水したため、一時は市内5千世帯が断水しました。各家庭には節水を呼び掛け、病院や高齢者施設などには給水車を派遣しました。

修繕業者も不眠不休で作業を行いました。部品が足りず修理を2週間以上待った家庭もありました。

昨年20回の節目をもって終了した「氷の祭典 アイスカービング in 伊佐」。

今年から新たな実行委員会のもと氷像や氷のすべり台の規模は小さくして、新しい伊佐の冬まつりとして「第1回アイスワールド in 伊佐」が行われました。

荒天が予想されたため会場を一部変更して開催されましたが、趣向を凝らした氷と光の演出、芸術的なステージショーは観客を魅了、伊佐を代表する「食」も一堂に会し、あたたかい料理と酒に酔いしれました。



第1回 アイスワールド in 伊佐



平出水小「半成人式」



平出水いなほ館で2月5日、平出水小学校でたった1人の4年生 柿木ほのかさんの10歳を祝う「半成人式」が行われました。

学校関係者はじめ地域住民ら30人が見守る中、「お父さんいつも夜遅くまで家族のためにお仕事頑張ってくれてありがとう」など家族への感謝の手紙を読み上げ、母ともみさんに手渡しました。

ほのかさんは「小さい頃から本を読んでもらったおかげで本が好きになりました。お母さんのような学校司書になりたい」と発表し、いなほ館の壁に将来の夢を書きこみました。

地域コミュづくり推進 優良団体表彰



2月5日、かごしま県民交流センターで県コミュニティづくり推進大会が開催されました。

基調講演やパネルディスカッションのほか優良団体表彰があり次の団体が受賞しました。おめでとうございます。

■地域コミュニティ組織部門「会長賞」

牛尾校区コミュニティ協議会（写真）

■学校部門「優秀賞」

伊佐農林高等学校

第63回県下一周駅伝



2月、恒例の県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催され、大会3日目15日に伊佐市を通過しました。

小雪がちらつく伊佐市役所前の沿道では、大口小児童が同校の村田慎一教諭に向け懸命に声援を送りました。

選手たちは郷土の熱い思いをタスキにのせて、5日間で53区間およそ590kmの道のりを駆け抜けました。

大口小学校 公開授業



2月4日、大口小学校体育館にて英語の公開授業が行われました。

「将来の夢」を題材に、就きたい職業のたずね方、答え方などを学習しました。

児童たちはたくさんの見学者を前に緊張した様子でしたが、数人で会話し合うグループワークでは積極的に英語を使い、楽しみながら取り組んでいました。

公開授業のあとは、市内小中高等学校の教員らで授業研究を行い、児童がより英語に慣れ親しむ環境づくりの工夫などについて意見交換しました。

小さなオニの元気な豆まき



2月3日「節分の日」、市役所大口庁舎にみどり保育園、菱刈庁舎に本城幼稚園の園児が豆まきにやってきました。

手づくりのお面をかぶったかわいいオニたちは「鬼は外、福は内」と掛け声をかけながら、悪そうな鬼に扮した職員に力いっぱい豆をまきました。

豆まきも終盤に差しかった菱刈庁舎ロビーでは、まさに鬼ごっこ状態。パワフルな園児たちの活躍あって鬼は逃げるように退散し、福を呼び込んでくれました。

大口高校 OB 初優勝



2月7日、県立サッカー・ラグビー場にて「第11回県出身高校別OB交流ラグビー大会」が開催されました。

予選から順調に勝ち進んだ大口高校OBは決勝で玉龍高校OBと対戦、12 - 10の僅差で初優勝しました。

予選① 24 - 5 加治木工業OB

② 47 - 0 鹿児島工業OB (B)

準決勝 32 - 12 " (A)

卒業証書の紙すき体験



伊佐市総合交流拠点施設「e-Gaなんちゅう」と命名された旧大口南中学校で2月5日、本城小学校（写真）と南永小学校の児童が、市章の透かし入り卒業証書の紙すき体験をしました。

上山製紙所（福井県）の柳瀬彦左衛門社長と宇野紙店（東京都）の宇野裕次代表取締役指導のもと、真剣な表情で世界に1つだけの手づくり卒業証書を仕上げました。

紙すき体験などの施設利用については、4頁をご覧ください。

「KOBATレ」継続



平成27年度に田中小学校（写真）・大口小学校などで試験導入した「KOBAT式体幹バランストレーニング」の最後の授業がありました。

サッカー日本代表の長友佑都選手らアスリートの身体を見続けてきたプロトレーナー木場克己氏が、リハビリを目的に医学的視点から考案した「KOBATレ」は、子どもから高齢者まで取り組めるトレーニングです。

児童らは年4回の貴重な直接指導で学んだことを毎日復習し1年間続けた結果、半数以上の児童が昨年の体力テストより進歩したことが確認できました。

来年度も学校を変え「KOBATレ」を継続する予定です。